

ふだんのくらしのしあわせのために

埴山小学校 五年 神山 菜璃

私の親は、二人ともフルタイムで働いて

います。だから私は、〇才のころから保育園

にあづけられ、小学生になつてからは、放課

後じどうクラブでお世話になつています。

福祉福祉、てなんだろう。気になつた私は、

福祉についてインターネットで調べてみました

た。福祉とはふだんのくらしの中でみんなが

しあわせになれるように取り組む活動や仕組

のことで、公的サービスや福祉サービス、ボ

ランティア活動、助け合い活動などです。

私は、福祉から、保育士さんやじどうク

ラブの先生が思い浮かびました。

もし、保育士さんやじどうクラブの先生が

いなか、たら、お父さんやお母さんが安心し

て仕事をすることかできなかつただろうし、

どちらかが仕事をやめなくちやならなかつた

かもしれませぬ。放課後、私は長時間ひとり

きりで家にいなければならなかつたかもしれ

ません。今のせあわせな生活が出来なかつた
 かもしれないのではと思つくと、保育園やじ
 うクラブの仕組みはほんとうにありがたいで
 す。お父さんやお母さん不安なく仕事ができ
 るように、私達が安全に元気にすごせるよう
 に一生けん命お世話してくれました保育士さんい
 どうクラブの先生達に感しやしています。
 私も福祉についてできることはないだろう
 か。身の守りの出来ることから初めようと思
 いました。家族と電車で出かけした時に、
 とちっうで赤ちゃんをだいたお母さんと、心
 さい子の親子が乗ってきました。その時は空
 いてる席がなく、まん席でした。私は勇気を
 出して、兄といっしよに席をゆずりました。
 すると、その親子は笑顔でお礼を言って座る
 と、とてもつかれていたので、かうとうとね
 むり始めました。その幸せそうなね顔を見て
 席をゆずってよかったと思ひました。
 みんなが福祉の心で、思ひやりをもってと
 もに支え合っう世の中になってほしいです。

1
5
10
15
20